

保育室利用のご案内

～準備を整えて、安心してお預けください～

保育室
3階309にて受付

保育室 利用のルール

時間

講座開始 20 分前より受付開始

★遅くとも 10 分前までにお越しください。

★欠席の場合は、できるだけ早くご連絡ください。

持ち物

- ①保育カード
- ②おしぼり（乾いたもの）
- ③着替え
- ④オムツ
- ⑤おしり拭き用ウェットティッシュ
- ⑥着替えた衣類を入れるビニール袋
- ⑦使用済みのオムツを入れるビニール袋
- ⑧飲み物（水かお茶）
- ⑨おやつ

すべてに記名



バッグにも記名

● おやつについてのお願い ●

保育の中でおやつの時間を設けます。

お子さんが食べやすいよう記名した容器に入れご持参ください。

●食べられる量

●食べなれたおやつ

（スナック菓子、グミ、飴、チョコレートはご遠慮ください。）

❖アレルギーによる事故を防止するため

おやつのやりとりはしないことになっています。

ご協力をお願いします。



ゴミが出ないように袋から出して容器に入れてね！

その他

- ・伝染性疾患・発熱・下痢など、体調が思わしくない時は利用をご遠慮ください。
- ・床で滑らないように、保育室では靴下を脱がせてください。爪も短くしておきましょう。
- ・保育終了後、保育者からお子さんの様子について、全体の様子などをお話します。それが終わった後、全員で片づけをして終了となります。
- ・保育室での様子など、遠慮なくおたずねください。
- ・事前に保育室を利用することについてお子さんに話し、また終わった後保育室での体験をぜひ聴いてあげてください。保育室の利用が、お子さんとのコミュニケーションアップにつながります。

保育カード

保育者はこのカードの情報に基づいて保育に当たりますので、必要事項をご記入の上、毎回お持ちください。

また、気を付けてほしいことなどがある場合は、遠慮なく保育者にお伝えください。



新潟市男女共同参画推進センター

新潟市中央区東万代町 9-1
新潟市万代市民会館 3 階

TEL 025-246-7713

FAX 025-246-8080

E-メール alza@city.niigata.lg.jp



保育室 知りたいこと アレコレ

Q. 子どもたちはどんなことをして過ごすのですか？

- A. まずは安心できる場所であることを感じてもらうため、興味のあるおもちゃで遊んだり、抱っこやおんぶで落ち着かせたりします。
その後はお子さんのそれぞれのペースを大切にしながら、自由遊びをしたり、気分転換やリズムづくりを兼ねて、おやつを摂ったりして過ごします。

Q. 私はイベントに参加できて大変いいのですが、小さい子どもを親から離して預けるのはよくないのではないのでしょうか？

- A. 慣れるまでは親も子も切なそうで、後追いをして泣くお子さんもいますが、体験を積むと、親も子も安定してさわやかな表情に変わっていきます。お子さんは、回数を重ねる中で「必ず迎えに来てくれる」という確信をもち、待ってられるようになりますし、待つだけではなく、その時間を楽しめるようになります。このように、親と子それぞれが自立した関係を作るよい機会となっています。
またお子さんとの生活に閉塞感を持ったまま過ごしているよりも、保育室を利用してリフレッシュすることで、お子さんとの生活を、より充実した密度の濃いものにすることができるのではないのでしょうか。
真摯な気持ちで参加され、待っていてくれたお子さんに「ありがとう」「大好き」を伝える機会にしていってください。



Q. 泣いていないか心配です。

- A. 初めての場所、初めての人の中で、泣くのは当たり前です。むしろ物事への理解が進んできた証拠ですから、「順調に成長しているのだな」と思って安心してください。泣きながらも、親以外の人ともつながろうと潜在能力を発揮し、保育者も精一杯それに応える中で、子どもたちに他者への信頼や社会への肯定感が育っていきます。

Q. どういう人が保育に当たっているのですか？

- A. 市が主催する「保育者養成講座」で所定の課程を修了し、公民館やアルザにいがたに登録をしている人たちを必要に応じて手配しています。お子さん2.5人につき1人の保育者が担当します。常駐しているわけではありませんので、キャンセルの連絡はお早めをお願いします。

Q. いろんな子どもに混じると、悪いことや悪い言葉を覚えることはありませんか？

- A. 集団保育ですので、そのような心配をされるお気持ちはわかります。特に年齢の大きいお子さんと一緒の場合には、いろいろな心配があると思います。もちろん保育者は、他の人を否定したり、傷付けたりするような行為や言葉については、その場で注意をします。でも、子どもは無菌状態で育てることはできませんし、むしろ、望ましい望ましくないにかかわらず、さまざまな刺激の中で育っていくのが自然な姿ではないでしょうか。
たくさん大人や子どもとのふれあいは、「人はそれぞれ違うのだ」ということを体感したり、自分を知る大切な機会となります。

保育室の意義

アルザにいがたでは、乳幼児をもつ方が安心して受講できるように、講座やイベントに保育室を設けています。保育者が学習する間、お子さんも、保育者や他の子どもたちとのかわりの中で成長していきます。
親子とも体験するさまざまな出来事を、肯定的に受け止め、学びを深める機会としてください。

